

平成29年度上半期 財政の状況

29年度上半期29年4月1日～9月30日)の歳入・歳出予算の執行状況などをお知らせします。
市の会計は、一般会計、特別会計、企業会計に分かれています。数値はすべて29年9月30日現在のものです。

一般会計

一般会計は、市税を主な財源とし、福祉、教育、小・中学校や公共施設の維持・管理、道路整備、ごみ処理など、行政を運営する経費の大部分を賄う会計です。

29年度の予算現額(年度当初の予算額に補正予算額などを加減したもの)は435億4658万円です。執行状況は図1のとおり、歳入では収入率が45・1%、歳出では執行率が37・2%です。

表1 積立基金(貯金)

	現在高
一般会計	
財政調整基金	34億4217万円
特定目的基金	65億7621万円
特別会計	25億5282万円
合計	125億7120万円

※財政調整基金＝財源の不足に備えるための基金(家計でいう貯金など)
※特定目的基金＝公共施設整備など特定の目的のための基金(家計でいう住宅購入資金積立など)

表2 市債(借金)

	現在高 (元金の残高)
一般会計	
建設事業債	96億8028万円
赤字地方債	112億5072万円
下水道事業会計	52億3217万円
合計	261億6317万円

※建設事業債＝学校、道路、公園などの公共施設の整備・改修のための借入金
※赤字地方債＝財源の不足を補うための借入金

◎積立基金(貯金、市債(借金)、市有財産)
積立基金(貯金)は表1、市債(借金)は表2、市有財産は図2のとおりです。

◎市税負担、市民サービスなど

市民の皆さんが納めた市民税や固定資産税などの市税負担額、市民サービス費用(※)、貯金、借金の1人当たり・1世帯当たりの金額は、図3のとおりです。

※市民サービス費用は市が行うサービスにかかる費用のことで、市税や国・都からの支出金などが財源

特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合に、その運営や経理を明確にするため、一般会計から分離して収支を管理している会計です。

各会計の予算現額と歳入・歳出予算の執行状況は、表3のとおりです。

企業会計(水道事業)

水道事業会計は、複式簿記(※)による「公営企業会計」で収支を管理しています。また、必要経費のほとんどを料金収入で賄う独立企業です。事業の経営状況は、下の図のとおりです。

※複式簿記はひとつの取引引きを原因と結果の二面から記録する会計方法

表3 29年度特別会計 歳入・歳出予算の執行状況

会計名	予算現額	収入済額 (収入率)	支出済額 (執行率)
国民健康保険	143億6520万円	57億4673万円 (40.0%)	58億6533万円 (40.8%)
介護保険	83億7965万円	33億1695万円 (39.6%)	33億8261万円 (40.4%)
後期高齢者医療	22億6208万円	9億6584万円 (42.7%)	7億4961万円 (33.1%)
下水道事業	29億 105万円	12億 984万円 (41.7%)	11億7143万円 (40.4%)
中神土地区画整理事業	3億4526万円	1億1331万円 (32.8%)	1億4049万円 (40.7%)
合計	282億5324万円	113億5267万円 (40.2%)	113億 947万円 (40.0%)

以上が29年度上半期の財政の状況です。市税収入が減少する一方、児童福祉費などの支出が増加しているため、財源不足が見込まれています。これを補うため、普通交付税(地方自治体の間の財政不均衡を改めるために国から交付されるお金)が約3億8300万円交付されることが決定しました。交付は22年度から8年連続となります。
市の財政は非常に厳しい状況にありますが、今後も市民サービスの維持・向上のため、限られた財源を有効に活用し、適正な予算執行に努めます。
☆詳しくは、一般会計・特別会計は財政課、水道事業会計は水道部業務課 ☎5436111へ。

29年度上半期 水道事業の経営状況

給水人口と配水状況

■給水人口	28年度上半期 11万2850人 29年度上半期 11万3009人 (前年度比159人 0.1%増)
■給水世帯	28年度上半期 5万2816世帯 29年度上半期 5万3302世帯 (前年度比486世帯 0.9%増)
■配水量	28年度上半期 638万3020m ³ 29年度上半期 634万4840m ³ (前年度比3万8180m ³ 0.6%減)

※有収水量(料金の対象となる配水量)は619万6505m³です。

企業債(借入金)の推移

企業債とは、水道施設の建設や改良のために借り入れるお金のことです。上半期は、新たな借入金はなく、償還金3963万円(元金3596万円、利息367万円)を支払いました。

■現在高(元金)

28年9月末	1億9728万円
29年9月末	1億1335万円

■給水人口1人当たりの額

28年9月末	1748円
29年9月末	1003円

経理の状況(消費税抜き)

収益的収支

(水道料金などによる収入と家庭に水を送るために必要な経費)

【収入 8億8818万円】

営業収益 8億6934万円
水道料金による給水の収益など

営業外収益 1884万円
預金利息、下水道使用料受託徴収収益など

【支出 2億7449万円】

営業費用 2億6952万円
原水及び浄水費、配水及び給水費、設備修繕費、減価償却費など

営業外費用 497万円
企業債の借入れ利息など

資本的収支

(古くなった水道施設の改良や新しい施設の設置のために必要な経費)

【収入 230万円】

負担金など 230万円
工事経費のうち市や企業が負担する分

【支出 5億2926万円】

建設改良費用 4億9330万円
配水管の布設工事などの費用
※水道水の安定給水と有効利用、また、災害に強い水道施設の整備のために、配水管の布設及び布設替工事、北部配水場整備工事などを行っています。

企業債償還金 3596万円
企業債の元金

図1 29年度一般会計 予算の執行状況

歳入	予算現額 435億4658万円 収入済額 196億3332万円 (収入率 45.1%)	上段：予算現額 下段：収入済額(収入率)	歳出	予算現額 435億4658万円 支出済額 162億1615万円 (執行率 37.2%)	上段：予算現額 下段：支出済額(執行率)
市税	190億7440万円 (市民税・固定資産税など)	107億5790万円 (56.4%)	総務費	44億1870万円 (徴税、住民登録など)	14億7466万円 (33.4%)
地方消費税交付金	22億7800万円 (地方消費税収入の配分金)	13億5574万円 (59.5%)	民生費	217億6380万円 (福祉の充実など)	90億6973万円 (41.7%)
地方交付税	4億8320万円 (普通交付税・特別交付税)	2億3138万円 (47.9%)	衛生費	34億7781万円 (健康、ごみ処理など)	12億4614万円 (35.8%)
使用料及び手数料	9億1497万円 (施設使用料など)	4億1670万円 (45.5%)	土木費	40億6742万円 (道路、公園の整備など)	9億 630万円 (22.3%)
国庫支出金	90億6432万円 (国からの補助金など)	34億 960万円 (37.6%)	消防費	15億1704万円 (災害対策など)	6億6105万円 (43.6%)
都支出金	59億9914万円 (都からの補助金など)	14億9340万円 (24.9%)	教育費	54億4339万円 (学校、スポーツ、文化など)	18億6360万円 (34.2%)
市債	19億1750万円 (国・都などからの借金)	0円 (0.0%)	公債費	21億3113万円 (借金の返済)	6億4809万円 (30.4%)
その他	38億1505万円 (繰越金、繰入金など)	19億6860万円 (51.6%)	その他	7億2729万円 (議会、農業、商工など)	3億4658万円 (47.7%)

※前年度から繰り越された事業の財源(7億6188万円)を含みます。 ※前年度から繰り越された事業の経費(7億6188万円)を含みます。

図2 市有財産

土地	建物
56万5493m ² (学校、公園ほか)	22万614m ² (学校、庁舎ほか)
貸付金	出資による権利
1億600万円 (土地開発公社ほか)	1億2294万円 (昭島市育英会ほか)

図3 市民1人当たり・1世帯当たりの市税負担額、市民サービス費用、貯金、借金

市税収入額、一般会計の支出額、積立基金現在高、市債現在高を人口と世帯数で割ったものです。

市民1人当たり	9万5194円	市税負担額	20万1825円	1世帯当たり
	14万3493円	市民サービス費用	30万4226円	
	11万1240円	貯金	23万5844円	
	23万1512円	借金	49万 839円	

※29年9月30日現在の人口は11万3010人、世帯数は5万3303世帯です。